

## 太陽光エネルギー利用の未来 参加者殺到し、第二会場設置 第17回科学技術交流フォーラム開催



写真上: 本会場の様子。補助のパイプ椅子も満席に。写真下: 第二会場の様子。参加者からはゆったりとして聞きやすかったという感想も。

2009年12月17日(木)本郷キャンパス山上会館2階大会議室において、東京大学産学連携協議会運営本部主催、第17回科学技術交流フォーラム「太陽光エネルギー利用の未来」～大規模太陽光発電システムに向けた技術開発の現状と展望～が開催されました。

太陽光エネルギーという昨今注目されているテーマだけに、定員150名の枠に約280名の参加申し込みがあり、急遽第二会場を設置する盛況ぶりでした。

本フォーラムでは、太陽光エネルギーに向けた太陽電池、蓄電・充電材料、またそれらを統合したシステムとグリッド連携の現状と成果を、太陽光発電技術の各分野の第一線で活躍する先端科学技術研究センター、大学院工学系研究科を中心とした研究者と、(株)東芝、シャープ(株)と昭和シェル石油(株)からの産業界のリーダーが連携する形で講演し、参加者と今後の太陽光エネルギー利用を視野に、新たな産学連携のあり方について、活発な意見交換が行われました。

フォーラム後の交流会は、年末にもかかわらず多数の参加がありました。フォーラム会場と同様、交流会も熱気で包まれ、講師の方々、参加者が気軽に交流できる場となりました。

## クラウド・コンピューティングの 革命化でどうコラボするべきか？ 第4回起業・大学発ベンチャーセミナー開催

2010年1月21日(木)本郷キャンパス情報学環福武ホールにて、東京大学産学連携本部/(株)ユニファイ・リサーチ2009年度産学連携共同シンポジウム、第4回起業・大学発ベンチャーセミナー「クラウド・コンピューティングと大学発ベンチャー」が200名を超える申し込みのもと、大変盛況のうちに開催されました。

セミナーでは、最初にNTTコミュニケーションズ(株)先端IPアーキテクチャセンターの高間徹所長より「クラウド・コンピューティングが切り開く世界」をテーマに基調講演が行われました。調査データによると、現在クラウドコンピューティング(以下、クラウド)を利用している企業はまだ1割程度で、既存システムとの連携の難しさ、システムの信頼性・安全性、カスタマイズの自由度の低さなどが主な課題であることが報告されました。トータルコストが高くなるとするユーザーも多いとの調査結果には、会場から驚きの声があがりました。

その後のセッション報告では、大学発ITベンチャー3社の代表者より、クラウドを使ってビジネスを展開している報告があり、クラウドのメリット・デメリットが述べられました。

パネルディスカッションでは、「大学発ITベンチャーは、クラウドがなければ実現できなかったビジネスもある。クラウドは、新しいビジネスを作る可能性も秘めているので、品質改良して使いやすくなることを希望する。クラウドという概念は米国発なので、日本でそれに相当するようものが、産学連携をする中で出てくることを期待する」という話題が出ました。



パネルディスカッションの様子:(左から)モデレーター・五内川弘史社長(株)ユニファイ・リサーチ)、パネリスト・長谷川克也特任教授(産学連携本部)、高間徹所長(NTTコミュニケーションズ(株)先端IPアーキテクチャセンター)、清田陽司助教(情報学環/(株)リッテル)、鎌田長明社長(株)情報基盤開発)、小倉豪放社長(株)フィジ奥斯)

### 産学連携デザインキューベーションルーム入居企業を募集します!

現在、産学連携デザインキューベーションルームにて入居企業を募集中です。

(<http://www.ducr.utokyo.ac.jp/kigyoincubation>)。

起業をお考えの研究者の方は、産学連携本部事業化推進部([seed@ducr.u-tokyo.ac.jp](mailto:seed@ducr.u-tokyo.ac.jp))までご連絡ください。

連絡先: 産学連携本部 (本部産学連携グループ)  
電話: 内線22857 (外線03-5841-2857)  
WEBサイト: <http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>

DUCR

検索

**DUCR**  
Division of University Corporate Relations  
The University of Tokyo